

# 景観・水辺空間、環境についてのまとめ

## 1 審議会での主な意見

### 【景観・水辺の活用】

水辺が人と人の交流が持てる場になるといい  
川沿いの歩道はウォーキングに適している 健康促進への活用  
お年寄りも子どもが気軽に行ける場所  
身近な景観が大切 ゴミ出しや子どもたちが集団登校で学校に行く風景など  
昔の水辺空間の再生 昔は水辺が生活に身近にあった  
写真が撮ってみたいと思える場所をつくれるか  
水辺が愛着や安心感を感じられるような環境になるといい  
いろいろな色が混じって共鳴する 古いものと新しいものの融合  
農園などを通して子どもたちの教育の場所をつくる  
すみだらしさの情緒を残す 江戸文化

### 【環境】

雨水の文化をもっと育てていく  
できるだけ車に頼らない生活  
クーリングシェルター整備 地域でのコミュニケーション増加へ  
雨水先進都市としてのインセンティブ 利用まで考えた雨水  
廃プラスチック回収の取組は素晴らしい 今後も推進すべき  
地球温暖化対策 子どもへの環境教育  
エネルギーの自給率を高める

# 景観・水辺空間、環境についてのまとめ

## 第3部会 景観・水辺空間、環境分野

### 2 10年後の未来予想図

#### 景観、水辺、環境「日常の風景の中で心地よさを感じられるまち」

普段の暮らしにおいてもすみだらしい豊かな水辺や江戸情緒を感じられる、心地よく過ごせる空間が整備されています。大切な地球環境を次世代に引き継ぐため、区民や事業者が、環境との共生を意識して、できることに取り組むまちをめざします。

#### ■暮らしを包み込む景色をつくる

工場と住宅、新しいものと古いものなど、いろんな色が共存し、混ざり合う中で、人々の普段の暮らしがやさしく包み込まれるような、心に残るまちなみをつくります。

#### ■心がやすらぐ水辺をつくる

日常生活の中で、子どもも高齢者も、誰もが水に親しみながら、楽しく遊び、穏やかに過ごせる場となるとともに、たくさんの人が訪れ、交流が生まれる水辺空間をつくります。

#### ■環境を「自分ごと」にする

一人ひとりの小さな行動が環境に影響を与えることを理解して、ゴミの分別、雨水の利活用、再生可能エネルギーの使用など、適切な行動が広がるしくみをつくります。